

「自分を知る」ことを軸に やさしい子育て実践のコツを楽しく学ぶ

全3回のプログラム構成で、お子さまと保護者の方自身について
ふり返りながら、ご家庭で実践できる子育てのコツやヒントを学べます

STEP 1 : 「思考」を整理し、わが子と向き合う

2019年11月16日(土) / 横浜みなとみらいホール

レクチャーやアクティビティーを通して、考え方には「クセ」があることを知り、お子さまや保護者様自身についてとらえ直します。グループワークではお茶やお菓子を食べながら、リラックスした空間で情報を共有し、お子さまに対して、また自分自身にとってもやさしくなる時間をつくります。



STEP 2 : 「感情」を理解し、子育てに活かす

2019年12月21日(土) / 横浜みなとみらいホール

感情について理解し、ある場面での子ども感情、親の感情を理解するためのグループワークの実施を通して、どう行動したらよいかを考えます。

STEP 3 : 認知と発達について学び、展望をもつ

2020年1月19日(日) / 横浜みなとみらいホール

認知機能や発達障がいにおける認知の状況、様々な療育の方法を確認したうえで、これまでの子育てと成長のまとめをして、将来への展望をもちます。

*** 全3回で積み上がるプログラム構成ですので、すべての回への出席をお勧めします。**

【講師のご紹介】



野中 友美

特定非営利活動法人アントワープカウンセリングオフィス

代表 理事長

臨床心理士 看護師 社会教育主事 中級コグトレトレーナー

看護師として昭和大学藤が丘病院小児病棟配属。骨髄移植、NICUの実践を手がけ、中間管理職、小児看護学講師などの経験を積む。子どもや親への看護実践からメンタルヘルスの支援の必要性を学ぶため、家庭、子育てをしながら東洋英和女学院大学人間科学部人間科学科心理学専攻へ入学。生涯学習センターにて発達相談子ども担当の実践を兼ねる。後に臨床心理士を目指し桜美林大学大学院国際学研究科臨床心理学専攻で学び、卒業後、保育園、幼稚園の発達巡回相談、東京都認証保育所経営の企業顧問にて保育指導にあたる。また、精神科病院回復病棟にてうつ病回復期の心理支援を担当する。神奈川県や横浜市の児童相談所、更生相談所、東京都の調布市子ども家庭支援センターでの経験を積み、発達の研鑽を積む為、白百合女子大学大学院 発達臨床センター研修生にて発達障がい児の為に小学校での支援や成育医療センターにてSSTを学ぶ。併用しながら川崎市キャリアカウンセラーとして、失業、リストラのケースの心理相談を担当。後に東京都スクールカウンセラーとして、小学校、中学校、高校にて経験を積む。その後、横浜市中部地域療育センターにて、横浜市モデル事業の親支援を担当する。後に特定非営利活動法人アントワープカウンセリングオフィスを設立。発達障がい児、保護者支援の為、横浜市指定 児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援の事業所を創り、臨床心理士が中心となり見立て、より良い支援を提供していくためにその子どもにあった適切な支援をと日々研鑽し活動している。その他、全国研修講師や学校、福祉などで講師活動も手がけている。